

## 広島 NEWS WEB

# ユニタール 原爆ドーム内部を撮影 核軍縮 などの研修会に向け

01月18日 12時29分



広島市にある国連の機関は、来月オンラインで開催する核軍縮などに関する研修会でバーチャルツアーを行うことにしていて、18日に原爆ドームの内部の撮影を行いました。

国連の研修機関「ユニタール広島事務所」は、毎年アジア各国の外務省や防衛省の職員を招き、核軍縮や核不拡散に関する研修会を開催していますが、

ことしは新型コロナウイルスの影響で昨年に引き続き、オンラインでの開催を予定しています。

ユニタール広島事務所ではオンラインであっても原爆の悲惨さを知ってもらいたいと、原爆慰霊碑やレストハウスなど平和公園周辺のあわせて15か所を撮影し、バーチャルツアーを行うことにしています。

18日は、担当者が原爆ドームの前で黙とうをささげたあと、原爆ドームの中に入って、360度カメラを使って建物の内部を撮影していました。

事務所では、撮影した写真に歴史を説明した文章もつけたうえで、来月からの研修会で利用するほか、一般公開も検討しているということです。

ユニタール広島事務所の馬場裕子さんは、「広島に来てもらうことはできないが、詳細を見ることで一瞬の爆撃でどれほどの被害が出たのか実感できると思う。それを核軍縮の会議の場などで生かしてほしい」と話していました。